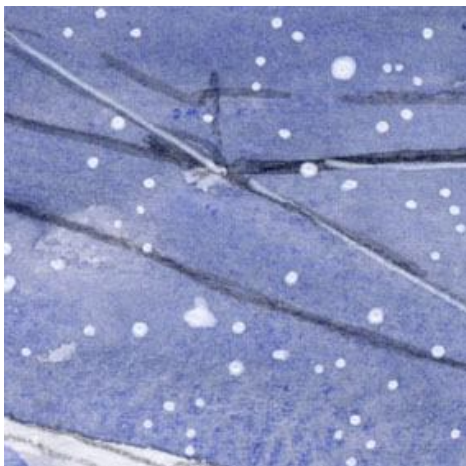


「日々の理科」(第964号) 2017 (H29)-2,25
水彩画教室「雪の北軽井沢駅」
お茶の水女子大学附属小学校 田中 千尋

北軽井沢駅で列車が発着していたのは 昭和35年4月までです 私がまだ生まれる前のことです 軽井沢～草津温泉を4時間近くかけて結んでいた草軽電鉄にあって 北軽井沢駅は一番大きな中間駅でした 始発列車もあり 列車の行き違いも見られました この駅舎は修繕されて今でも健在です この光景が復活する日を願っています



これが完成した絵です



1、雪の粒は一つずつちがう大きさに 架線は控えめに描きます



2、独特の大きなパンタグラフが特徴です これを描かないと草軽の機関車になりません



3、雪の中に 暗い色の機関車はよく合います 右側の面が影になるように描きます



4、乗客と駅員さんは 少し霞がかかったように描きました



5、赤い屋根の特徴を残しながら 雪が積もったように描くのが大変でした



6、向かいの線路の古い客車 線路に雪が積もっている様子の立体感が難しい